

◆子育てサポートファイル「すまいるファイル」の活用について

1 ファイルの活用状況

機関名	意見
三条小学校長会	・特別支援学級の保護者には、「ファイル」について紹介し、作成していく方向でいる。今後の進学等で連携した支援につながるように活用していく予定
三条中学校長会	高等部に進学した生徒には、ファイルを活用させ、進学先へのツールとして個々で保管している。(記入状態は分からない)
県立月ヶ岡養護学校	保護者の手に渡ったままで、まだ学校と一緒に活用している所までには至っていない。
三条市私立幼稚園連盟	頂いた方々がそれぞれ利用、保管している。
私立保育園連盟 連絡協議会	支援を要するお子さんに出会わなかったので、活用についての把握は出来なかった。支援を必要としないお子さんについては「今のところ必要ではないが、沢山の子育てについての情報が入っていて助かる」とのことであった。
三条市教育委員会 子育て支援課	<乳幼児健診時の活用> 健診案内時にファイルの持参を呼びかけ、持参された場合は健康相談時の参考になっている。 <子ども発達相談室での活用> ・入室時に、児童の状態及び関係機関を把握するため、当該年齢の「生活状況」と「まんなかマップ」を記載してもらい、写しを保護者と相談室で共有。なお、ファイルを所持していない場合は、入室時にファイルを配付 ・相談室作成の個別の支援計画及び他の療育機関の計画書を、ファイルの綴じってもらうよう促している。

2 ファイルの活用方法の促進を図るために

機関名	意見
三条小学校長会	・学校からの保護者への紹介・勧め ・発達障害の理解度・認識に、「保・幼」での温度差を感じる。保育所・保育園・幼稚園への活用を広めていくよう働きかけていくことが必要と思う。
三条中学校長会	保護者会で説明したが、希望者が少なかったようだった。 入学時に全員に渡してもよいように思う。支援計画も入っているし、在学中で記入していただき、次の進学先に記入された状態でお渡し出来るので、在学中は学校側が介入して、定着できるようにした方がよいように思う。
県立月ヶ岡養護学校	・記録する量が多すぎるよう。 ・個別の教育支援計画は、学校から渡されたものをこのファイルに綴じることを確認しないと忘れられてしまうかもしれない。
三条市私立幼稚園連盟	申込希望者が数名で、その他の方は関心がなかったのか申込がなかった。それを考えると、希望というより全員にはいふするということをしていてもよいと思う。
三条市社会福祉協議会	子どもの健診の際に持参・活用できるよう、サイズを小さくして作成してはいかかが。また、健診時に使用方法を説明する時間を設けるようにしてみてもいかかが。
私立保育園連盟 連絡協議会	「配付時に説明があったようだが、よくわからなかった。」ということで、このファイルの存在の意義などももっと理解してもらうような取組が必要ではないか。
三条市手をつなぐ 育成会	配付先の活用状況調査の実施（アンケート）が必要
三条公共職業安定所	周知活動については、現行の活動で良いと思うが、もし可能であれば、入園時や入学時にチラシの配布及び保護者に対しての説明会を行う。